

糖尿病だより

2012年12月
No.24

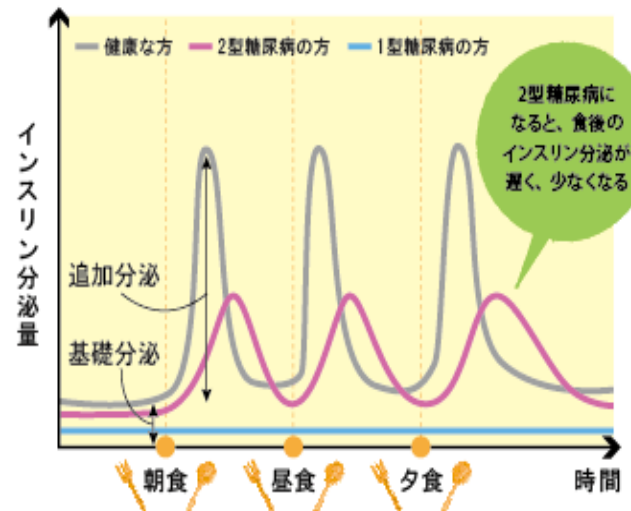
～薬剤科より～ インスリン注射について

★ 血糖値を調整するインスリン

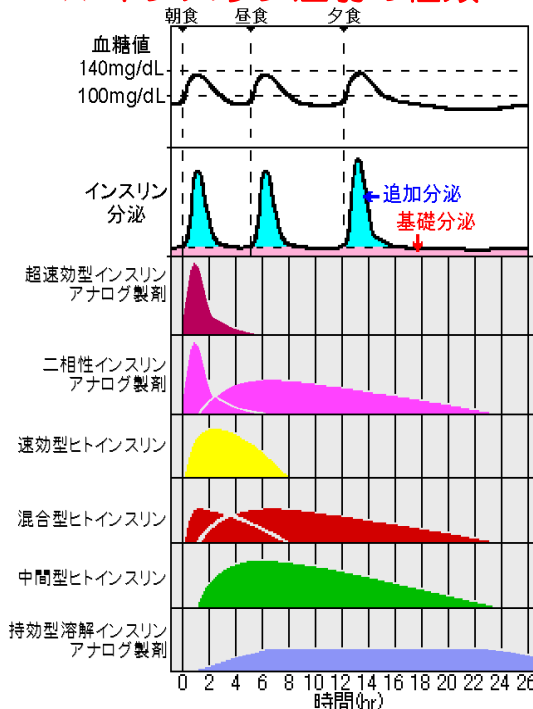
インスリンは膵臓から出るホルモンです。食事から得たブドウ糖をエネルギーに変え、血糖値を下げる唯一のホルモンです。

健康な人のインスリン分泌は、1日中、絶えることなく少量のインスリンが分泌されています。これを基礎分泌といいます。さらに、ご飯を食べると、その分量にあった量だけのインスリンが急速に分泌されます。これを追加分泌といいます。

糖尿病になるとこの分泌量が低下するため、インスリン注射で補うことがあります。



★ インスリン注射の種類



分類	商品名	発現時間	最大作用時間	持続時間
超速効型	ヒューマログ ノボラピッド	15分未満	0.5～1.5時間	3～5時間
速効型	ノボリンR ヒューマリンR	約0.5時間	1～3時間	約8時間
中間型	ノボリンN ヒューマリンN	約1.5時間	4～12時間	約24時間
混合型	ヒューマリン3/7 ノボリン30R ノボラピッド30ミックス	約0.5時間	2～12時間	18～24時間
持効型	ランタス レベミル	約1時間	あきらかな ピークなし	約24時間

どのタイプの薬をどれくらい注射するかというのは、患者さんの病状や合併症の有無、生活習慣などによって異なります。

* 早めのインスリン治療でβ細胞を守ろう *

早期にインスリン治療をすることでインスリンを分泌するβ細胞の機能が回復し、再び、のみ薬や食事療法でコントロールできることがあります。インスリン治療を勧められたら迷わずすぐに始めましょう。「一度注射をするとくせになってやめられない」は間違いです。

糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。

糖尿病療養指導スタッフ一同

国立病院機構 姫路医療センター